



参 考 資 料

1 用語解説

【ア行】

●ISO14001

国際的な標準規格の設定を行う機関「ISO（国際標準化機構）」が定めた、企業や自治体などの自主的な環境配慮の推進のための国際規格。

●アイドリングストップ

自動車が停車しているときに積極的にエンジンを止めること。1時間のアイドリングで、約0.8～1.5 リットルの燃料を消費し、約500g～1 kgの二酸化炭素を空气中に排出する。

●インバータ制御機器

周波数を制御する装置で、照明機器等では、通常 50～60Hz の交流電流の周波数を高くすることにより、少ない電力で従来の明るさを確保できる。

●温室効果ガス

大気圏にあって、地表から放射された赤外線の一部を吸収することにより温室効果をもたらす気体の総称。京都議定書に定められている温室効果ガスは二酸化炭素やメタンなど6種類あり、いずれも削減の対象とされている。

【カ行】

●環境マネジメントシステム（Environmental Management System、EMS）

企業など事業組織が法令などの規制基準を遵守することにとどまらず、自主的かつ積極的に環境を保全するために立案する計画と行動組織のこと。

●気候変動に関する国際連合枠組条約

温室効果ガスの増大に伴う気候変動を防止するための枠組みを規定した条約。平成 4（1992）年 5 月に採択され、同年 6 月の地球サミットで署名を開始し、平成 6（1994）年 3 月 21 日に発効した。先進国が温室効果ガス排出量を平成 2（1990）年レベルに安定化されること、各国が排出量の国家通報を行い、締約国会議で審査を行うなどを盛り込んでいる。

●気候変動に関する政府間パネル（IPCC）

IPCCは、[Intergovernmental Panel on Climate Change] の略。各国政府を代表する専門家が地球温暖化に関して議論する場。国連環境計画（UNEP）と世界気象機関（WMO）により、平成元（1988）年に設置。地球温暖化のメカニズム、社会経済への影響、対策を明らかにすることが目的。

●京都議定書

平成 9（1997）年 12 月に開催された「地球温暖化防止京都会議（第 3 回 締約国会議：COP3）」において採択された議定書。先進国に対し、法的な拘束力のある削減目標を定め、先進国全体で温室効果ガスを 5.2% 削減することとした。また、排出量取引、共同対策事業、開発途上国の対策支援などが組み込まれている。平成 17 年 2 月 16 日に発効。日本は平成 14 年 6 月に批准。

●グループウェア

企業内 LAN を活用して情報共有やコミュニケーションの効率化をはかり、グループによる協調作業を支援するソフトウェアの総称。主な機能として、グループ内のメンバー間および外部とのコミュニケーションを円滑化する電子メール機能などがある。

●国際エネルギースターロゴ

日米政府が認証する環境ラベリング制度である国際エネルギースタープログラムに基づき、一定の省エネ基準を満たした製品につけられるロゴのこと。コンピュータ、ディスプレイなどのオフィス機器7品目について、待機時におけるエネルギー消費量の抑制を主眼に基準を定めている。

●国連環境開発会議（地球サミット）

正式名称は、「環境と開発に関する国際連合会議（UNCED）」。「地球環境問題に世界の目を初めて向けさせた「国連人間環境会議」（昭和47（1972）年ストックホルム）の20周年を記念して平成4（1992）年、リオデジャネイロで開催され、持続可能な開発に向けた地球規模での新たなパートナーシップの構築に向けた「リオ宣言」などが合意された。

【サ行】

●自動照度調節

昼光センサーで昼光を測定し、測定データをもとに照明器具の点滅を設定パターンに応じ制御すること。点灯、減光（消灯）を自動的に行うことで適正照度を確保する。

【タ行】

●庁内LAN（Local Area Network）

より対線や同軸ケーブル、光ファイバーなどを使って、庁内にあるコンピュータやプリンタなどを接続し、データをやり取りするネットワーク。

●低公害車

窒素酸化物などの大気汚染物質や二酸化炭素の排出量の少ない自動車のこと。電気自動車、CNG自動車、メタノール自動車及びハイブリッド自動車などが該当する。

●低排出ガス車認定制度

自動車排出ガスからの有害物質の排出が、どの程度削減されているかを示す制度のこと。国土交通省がその低減度に応じて認定しており、低減レベルが星の数で示されたステッカーにより一目でわかるようになっている。

●締約国会議（Conference of Parties、COP）

気候変動枠組条約の締約国によって開催される会議の中の最高意思決定機関のこと。各締約国、特に先進国の排出削減計画や実施状況の検証、新たな仕組みの確立などが話し合われる。京都議定書が採択されたのもこの締約国会議である。

【ハ行】

●ハイドロフルオロカーボン

フロン的一种で、炭化水素のフッ素置換体類の総称。オゾン層を破壊しない代替フロンとして用いられてきたが、温室効果ガスであることが判明し、京都議定書で二酸化炭素と並び排出抑制対象とされた。

●パワーポイント（Microsoft PowerPoint）

Microsoft 社のプレゼンテーションソフト。多様なシチュエーションに対応しており、スライドでのプレゼンテーションから LAN 上でのリアルタイムプレゼンテーションまで幅広く利用されている。また、プレゼンテーション時に配布する資料の印刷なども可能なことから、幅広い層のユーザに利用されている。

【ラ行】

●リサイクル（再利用）

廃棄物等を再利用すること。原材料として再利用する再生利用（再資源化）、焼却して熱エネルギーを回収するサーマル・リサイクル（熱回収）がある。

●リデュース（発生抑制）

廃棄物の発生自体を抑制すること。リユース・リサイクルに優先される。リデュースのためには、事業者には原材料の効率的利用、使い捨て製品の製造・販売等の自粛、製品の長寿命化など製品の設計から販売に至るすべての段階での取組が求められる。また、消費者は、使い捨て製品や不要物を購入しない、過剰包装の拒否、良い品を長く使う、食べ残しを出さないなどライフスタイル全般にわたる取組が必要。

●リユース（再使用）

いったん使用された製品や部品、容器等を再使用すること。具体的には、(1)あるユーザーから回収された使用済み機器等をそのまま、もしくは修理などを施した上で再び別のユーザーが利用する「製品リユース」、(2)製品を提供するための容器等を繰り返し使用する「リターナブル」、(3)ユーザーから回収された機器などから再使用可能な部品を選別し、そのまま、もしくは修理等を施した上で再度使用する「部品リユース」などがある。

3Rとは、

リデュース（Reduce）・リユース（Reuse）・リサイクル（Recycle）

5Rとは、

3Rとリフューズ（Refuse）・リペア（Repair）

リフューズ（Refuse）＝不要なものは受け取らない

リペア（Repair）＝修理して長く使う

2 品川区地球温暖化対策推進体制に関する要綱

地球温暖化対策推進会議設置要綱

（設置）

第一条 環境問題に対する、品川区の施策を総合的、効果的に推進するため、地球温暖化対策推進会議（以下「推進会議」という。）を設置する。

（所掌事項）

第二条 推進会議の所掌事項は、次のとおりとする。

- ① 地球温暖化防止対策に関する事項
- ② その他前項に関連し必要と認められる事項

（組織）

第三条 推進会議は、別表第1に掲げる座長、副座長、委員で構成する。

- 2 座長は、推進会議を招集し、会議を主催する。
- 3 副座長は、座長を補佐し、座長に事故あるときはその職務を代理する。
- 4 座長は、第1項に定めるもののほか、必要と認める者を出席させることができる。

（庶務）

第四条 推進会議に関する事務は、環境清掃事業部環境課において処理する。

（委任）

この要綱の実施について要綱の定めない事項については、別に環境清掃事業部長が定める。

別 表 第 1

役 職	職 名
座長	副区長
副座長	教育長
委員	企画部長
委員	総務部長
委員	区民生活事業部長
委員	児童保健事業部長
委員	品川区保健所長
委員	品川区保健センター長
委員	福祉高齢事業部長
委員	環境清掃事業部長
委員	品川区清掃事務所長
委員	まちづくり事業部長
委員	会計管理者
委員	区議会事務局長
委員	選挙管理委員会事務局長
委員	監査委員事務局長
委員	教育委員会教育次長

3 各施設のCO₂排出量の削減設備等

(1) 太陽光・風力利用

太陽光

施設名		容量(kw)	用途
しながわ水族館		0.1	案内表示器
防災センター		3	3階ロビー照明
日光光林荘		0.02	庭園灯
戸越台複合施設		1.62	地下照明
荏原二丁目複合施設		3	保健所待合室照明
中延六丁目複合施設		3	1階ロビー照明
品川区保健センター		5	食堂照明
南大井複合施設		3	全般
中央公園管理等		3	管理棟の照明の一部
西大井複合施設		3	
西五反田高齢者複合施設	超高層棟	風力62W・太陽光54	街路灯2灯(風力+太陽熱)
	高齢者棟	5	照明
資源化センター		10	照明

太陽熱

施設名	容量(kw)	用途
品川荘		太陽熱を利用した採暖

施設以外

設備名	熱源等	規模
公園	太陽電池時計	159基
街路灯(林試の森に通じる道路)	ハイブリット型	4基
中央公園街路灯	太陽光・風力	4基
ファミリーユ下神明街路灯	太陽光	2基
大森貝塚遺跡庭園	太陽光	ツイン蛍光灯
上神明児童遊園	太陽光	白色LED
しながわ中央公園	太陽光・風力	白色LED
東品川海上公園	太陽光・風力	白色LED

(2) 雨水利用

施設名称	水槽容量(㎡)		利用形態
	雨水貯水槽	雨水利用槽	
総合区民会館(きゅりあん)	350		便所洗浄水
福栄会	102		便所洗浄水
日光林間学園・しながわ光林荘	20		屋外散水
防災センター・第二庁舎	200	30	便所洗浄水
戸越台中学校・特別養護者人ホーム等複合施設	680	13	便所洗浄水
品川区保健所・荏原特別養護者人ホーム等複合施設	350	48	便所洗浄水
中延特別養護者人ホーム等複合施設	210	30	便所洗浄水
品川区保健センター等複合施設	50	20	便所洗浄水
ケアセンター南大井等複合施設	200	20	便所洗浄水
西五反田高齢者等複合施設	50	16	便所洗浄水
ファミリーユ西五反田・東館	130	70	植栽用灌水
西大井複合施設	100		屋外散水
品川区総合庁舎	100	100	便所洗浄水

(3) 屋上緑化

施設名	設置年度	施工面積 (㎡)	備考
防災センター・第二庁舎	1996	587	
総合庁舎	2002	約888	舗装部含
	2005	約135	屋上:62 壁面:73
中小企業センター	2002	約389	
家庭あんしんセンター	2002	約75	
荏原清掃事務所	2003	約75	
ファミリー下神明ゴミ置場屋根	2003	約115	
荏原第五地域センター	2004	約88	
西大井複合施設	2004	124	
しながわ中央公園管理棟	2005	約43	
資源化センター	2005	466	
東品川海上公園	2006	1930	

(4) 区立の小中一貫校・小学校・中学校での導入

新・改築校環境対応設備等一覧

	太陽光 利用設備	利用形態	雨水利用設備	利用形態	風力発電	屋上緑化
日野学園	○	施設の照明等	○	植栽用灌水		○
伊藤学園	○	施設の照明等	○	便所洗浄水		○
台場小学校	○	外灯	○	便所洗浄水		○
京陽小学校	○	環境学習教材			○	
第二延山小学校	○	外灯	雨水利用はしていないが、プール水位調整排水 等中水利用	便所洗浄水		○
小山小学校	○	施設の照明等	○	植栽用灌水		○
八潮小学校	○	環境学習教材・池の循環ポンプ			○	
般若小学校						○
中延小学校						○
延山小学校						○
城南小学校						○
第四日野小学校						○
社松小学校						○
品川小学校						○
旗の台小学校						○
荏原第五中学校	○	動力				○
平塚中学校						○
東海中学校						○

(5) 助成事業

イ：緑豊かな街なみづくり助成事業（生垣助成）

年度	件数	緑化延長 (m)	助成金額 (千円)	都補助対象助成額 (千円)
63	13	177.3	4,442	1,593
元	12	237.2	7,271	1,000
2	16	381.9	7,642	1,000
3	14	190.6	5,907	1,000
4	18	207.6	6,269	1,000
5	17	239.9	5,578	1,000
6	10	110.2	3,393	1,000
7	12	229.6	5,129	1,000
8	11	107.1	3,121	1,000
9	17	266.5	5,236	廃止
10	9	60.9	1,520	廃止
11	9	126.7	3,581	廃止
12	7	104.1	3,637	廃止
13	6	90.8	1,991	廃止
14	8	149.9	2,554	廃止
15	12	116.4	2,055	廃止
16	7	93.1	2,149	廃止
17	4	51.1	1,708	廃止
18	10	54.3	892	廃止
	212	2,995.2	74,075	9,593

ロ：屋上緑化等助成事業

年度	件数	総面積 (㎡)	助成金額 (千円)
14	9	244	2,260
15	13	293	3,433
16	13	522	3,110
17	8	158	1,596
18	8	207	2,034
	51	1,217	12,433

4 平成20年度改修工事等によるCO₂排出量の削減効果一覧

区が実施する、各施設の改修工事・新規工事および設備の更新により削減が見込まれるCO₂排出量の削減量は、平成20年度は259,187kg-CO₂になります。

NO	施設名(事業名)	対象機器	省エネ費用(千円) ※1	削減量		
				電力量(kwh)※2	ガス量(m3)※3	CO2量(kg)※4
1	東大井区民集会場	エアコン	26,005	8,424		4,675.3
2	荏原区民センター	エアコン	3,045	1,404		779.2
3	荏原西区民センター	エアコン	3,675	1,404		779.2
4	三ツ木児童センター	エアコン	2,500	1,404		779.2
5		エアコン	4,000	3,240		1,798.2
6	滝王子児童センター	エアコン	8,900	2,052		1,138.9
7	西中延児童センター	照明	3,300	1,994		1,106.7
8	南品川児童センター	照明	2,400	680		377.4
9	西中延保育園	照明・エアコン	24,000	4,362		2,420.9
10	東大井保育園	照明・エアコン	39,000	8,073		4,480.5
11	一本橋保育園	照明・エアコン	38,000	9,091		5,045.5
12	東中延保育園	照明・エアコン	30,000	9,612		5,334.7
13	滝王子保育園	照明・エアコン	37,000	8,181		4,540.5
14	荏原西保育園	エアコン	18,000	3,996		2,217.8
15	旗の台保育園ほか	エアコン	15,000	7,668		4,255.7
16	品川区保健所	エアコン	2,120	702		389.6
17	道路公園課	街路灯	28,745	33,636		18,668.0
18	区民住宅	ポンプ	94,608	10,804		5,996.2
		給湯器			8,687	20,219.9
19	杜松小ほか	ポンプ	16,800	3,900		2,164.5
20	小山台小	照明	30,000	3,210		1,781.6
21	第一日野小	改築に伴う省エネ型エアコン・照明・動力機器等の導入※5	35,324	40,064		22,235.5
22	第三日野小		31,356	40,064		22,235.5
23	荏原西地区小中一貫校		186,359	80,128		44,471.0
24	八潮地区小中一貫校		22,627	80,128		44,471.0
25	パソコン	パソコン	25,820	1,689		937.4
26	給食運営	洗濯機	19,883	312.5		173.4
		ボイラー			9,000	20,948.4
27	給食調理機器整備	冷凍冷蔵庫	21,282	5,431		3,014.2
		給湯器			3,375	7,855.7
28	旗の台文化センター	エアコン	63,106	7,020		3,896.1
合計			832,855	378,673.5	21,062	259,187.7
削減量料金換算(千円)※6			11,448	8,331	3,117	

※1. 省エネ費用は削減量に直結しない費用も含まれる概算総額

※2. 削減電力量kw×時間h×稼働日数

※3. 削減ガス量m3×時間h×日数

※4. エネルギー換算係数及びCO₂排出係数を乗じて算出

※5. 既設建物の規模・設備を基準に省エネ機器を導入したケースで算定

※6. エネルギー等の料金単価使用

品川区地球温暖化防止対策実行計画
(第二次)

平成 20 年 3 月発行

発 行 品 川 区
編 集 環境清掃事業部環境課

〒140-8715 東京都品川区広町2-1-36
電話 03-5742-6755
FAX 03-5742-6853